

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2002-143108 (P2002-143108A)

【公開日】平成 14 年 5 月 21 日 (2002.5.21)

【出願番号】特願 2000-347210 (P2000-347210)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 5/0245

A 6 1 B 5/11

G 0 1 G 19/50

【F I】

A 6 1 B 5/02 3 1 0 J

G 0 1 G 19/50 Z

A 6 1 B 5/02 3 2 2

A 6 1 B 5/10 3 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 27 日 (2004.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

一方、測定部 2 は、利用者の体重値を測定し、測定値をコントロール部 1 へケーブル 3 を介して出力するものであり、ストレインゲージを用いてブリッジ構成した荷重検出装置 2 1、荷重検出装置 2 1 から出力される電圧信号を増幅する増幅器 (AMP) 2 2、増幅器 2 2 からの出力であるアナログ信号をデジタル信号に変換し、マイクロコンピュータ 1 へ出力する A / D 変換器 (ADC) 2 3 を備える。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

ここで利用者が測定部 2 に載ると、荷重検出装置 2 1 は荷重の測定を開始する (ステップ S 3)。尚、荷重測定のサンプリング周期は拍動よりも十分に早い時間であることが必要である。一般に脈拍の周期は 300 (ms) ~ 1.2 (s) と言われ、本測定装置では荷重測定のサンプリング周期を 20 (ms) とする。測定された荷重信号は逐次、増幅部 2 2 に取り込まれ増幅される。増幅されたアナログ荷重信号は A / D 変換器 2 3 においてデジタル荷重信号に変換され、マイクロコンピュータ 1 1 を介して記憶装置 1 2 に記憶される (ステップ S 4)。ここで荷重測定が開始されてから一定時間が経過したかを判断する (ステップ S 5)。ここでは一定時間を 60 (s) とし、60 (s) 経過するまではステップ S 3 に戻り、荷重の測定を続ける。従って本測定装置では 20 (ms) のサンプリング周期で 60 (s) 間、体重の測定を行い荷重値の時系列データを記憶していく。